

第2号様式（第7条関係）

事業計画書

<申請者>

ふりがな 事業所名称				該当する場合は ☒ ☐ 小規模事業者 （従業員が商業サービス業は5人以下、その他業種は20人以下の事業所） ☐ 賃上げ方針表明 （3.0%以上）	
ふりがな 代表者名					
主たる業種					
資本金（法人）		万円		常時使用する 従業員数	人
担 当 者	ふりがな 氏 名			役職	
	電話番号		携帯電話番号		
	FAX 番号		E-mail アドレス		

<経営計画>

1. 企業概要

（設立年、基本理念、代表の経歴、後継者がいればその方の経歴について記載してください。）

当社（当店）は阿賀野市内で地場の食材や自家製スープにこだわったラーメン店を営業している。長年の営業により地域住民の常連客や近隣からの来訪客に支えられ、連日賑わいを見せている。

2. 外部環境の影響と顧客ニーズ・市場の動向

（中東情勢や物価高騰等により自社が受けている影響による現在の経営課題を記載してください。また、そのような環境の変化を踏まえ、顧客や消費者が求めているニーズや市場の動向について記載してください。）

原材料（小麦粉、豚肉、調味料等）や光熱費の高騰が収益を大きく圧迫している。店舗飲食（イートイン）のみの営業では、座席数や営業時間（ランチ・ディナー帯）の制約から売上の天井が見えており、悪天候時の来店数激減リスクも抱えている。一方、近年の急速な冷凍食品技術の向上と生活スタイルの変化に伴い、「店舗の看板メニューを家庭や職場で手軽に味わいたい」「お土産やギフトとして遠方の知人に贈りたい」というテイクアウト・冷凍食品に対する需要が急速に拡大している。

3. 自社や自社の提供する商品・サービスの強み

（商品・サービスが他社に比べて優れている点を記載してください。また、顧客に評価されている点、お客様の声、お客様アンケートの結果、新聞や雑誌記事で取り上げられたことなどがあれば記載してください。）

地元阿賀野市の銘柄豚や醤油を活用した、他店には真似できない独自性の高いスープと麺の開発力。

リピート率が高く、SNS や口コミでも高い認知度と支持を獲得している看板メニューのブランド力。

4. 経営方針・目標と今後のプラン

（上述の内容を踏まえた今後の経営方針・目標及びそれらを達成するための時期や具体的な行動などを記載してください。）

店内での食事提供にとどまらず、「人気看板メニューの急速冷凍商品化」に取り組み、「店舗外販売（自社 EC サイト、地場道の駅・自販機・近隣スーパー等の外販チャンネル）」へ新規参入する。

店舗の座席数制限や営業時間に拘束されない新たな収益軸（全国・24 時間での販売体制）を確立し、エネルギー・原材料価格高騰に耐えうる高付加価値な経営体制へシフトする。

< 補助事業計画 >

（1）申請区分（いずれか 1 つに✓）

☒ 新市場進出や事業再構築を図る取組

☐ 省人化・省力化等の生産性向上を図る取組

☐ デジタル技術の活用や DX 化を図る取組

（2）補助事業の内容

1. 補助事業で行う事業名

（補助事業の事業名を記載してください。）

【例】

人気ラーメンの急速冷凍商品化による店舗外販売（EC・外販ルート）への新規参入事業

2. 取り組み内容

（補助事業の取組を具体的に記載してください。）

【例】

・急速冷凍機および真空包装機の導入：店舗の味・風味・食感を損なわずに長期保存を可能とする「小型急速冷凍ストッカー」と「真空パック包装機」を導入し、衛生的な冷凍ラーメンパックの製造体制を構築する。

・冷凍商品用パッケージ・販促物の開発：賞味期限表示や成分表示、美味しい作り方を記載した専用オリジナルデザインパッケージおよび解説チラシを作成する。

・オンライン販売（EC）および外販ルートの開拓：直営 EC サイトを立ち上げ全国発送に対応するとともに、阿賀野市内の道の駅や直売所、自動販売機等での冷凍商品販売を開始する。

3. 補助事業の効果

（事業に取組むことにより、顧客数・取引先数・売上高・利益率・従業員の給与額などがどの程度増加（改善）するのか見込みを記載してください。）

【例】

・新規顧客層・広域市場の獲得：店舗に来店できない遠方客・ギフト需要・夜間需要を獲得し、店舗外売上比率を 30% 以上に引き上げる。

・仕入れ・製造コストの最適化：アイドルタイム（店舗の空き時間）を活用して冷凍商品を一括仕込み製造することで、人件費と厨房設備の稼働効率を大幅に向上させる。

・収益基盤の強化：原材料・光熱費高騰の中でも、高粗利な製造直販（中食・EC）モデルを追加することで全体利益率を改善する。

（３）経費明細表

経費区分	経費内容	用途・必要理由	補助対象経費 (税抜)	補助対象経費 (税込)
① 機械装置 等費	厨房用小型急速冷凍機・真空包装機一式	ラーメンの品質を保ったまま冷凍商品化するための専用機器導入	450,000 円	円
② 開発費	冷凍商品用パッケージデザイン・試作袋費	衛生基準に沿った表示やブランド感を演出するオリジナル包装試作	100,000 円	円
⑦外注費	冷凍ラーメン直販ECサイト構築外注費	全国からの注文・クレカ決済・配送管理に対応したWebサイト制作	200,000 円	円
			円	円
補助対象経費合計			(イ) 750,000 円	(ロ) 円
補助金交付申請額 いずれかを選択してください。 ☐ (イ) × 1/2 以内（千円未満切捨） ☐ 賃上げ方針表明(3.0%)する場合：補助率 2/3 に引き上げ ☒ ※小規模事業者の場合は (イ) × 2/3 以内（千円未満切捨） ☐ 賃上げ方針表明(3.0%)する場合：補助率 3/4 に引き上げ			500,000 円	

※経費区分には、「①機械装置等費」から「⑧その他経費」までの各費目を記入してください。

※必要に応じて欄を増やして記載してください。

※用途・必要理由については、具体的に記載してください。

(4) 資金調達方法

経費区分	金額(円)
1. 自己資金	250,000 円
2. 金融機関からの借入金	500,000 円
3. その他 ()	円
合計額	750,000 円

※合計額は(3)ー(イ)の補助対象経費合計と一致します。

※補助事業が終了してからの精算となりますので、その間の資金調達方法について記入してください。

(5) 補助事業による見通し

	直近年度実績 (令和 7 年度)	1 年後 (令和 8 年度)	2 年後 (令和 9 年度)	3 年後 (令和 10 年度)
売上 (A)	(D) 20,000,000 円	20,500,000 円	21,500,000 円	(F) 22,000,000 円
売上原価 (B)	8,000,000 円	8,200,000 円	8,600,000 円	8,800,000 円
売上総利益 (A-B)	12,000,000 円	12,300,000 円	12,900,000 円	13,200,000 円
販売費及び一般管理費 (C)	10,500,000 円	10,710,000 円	11,031,000 円	11,362,000 円
営業利益 (A-B-C)	(E) 1,500,000 円	1,590,000 円	1,869,000 円	(G) 1,838,000 円

3 年後の売上増加率 $\{(F-D)/D \times 100\}$	10 %
3 年後の営業利益率増加率 $\{(G-E)/E \times 100\}$	22.5 %